

コース紹介

平和・国際協力

1. 概要

効果的かつ公正な平和・国際協力をめぐる研究・実践について、総合的に学び、実習します。今日の社会空間の越層性（glocality）、多様な公共問題の交差性（intersectionality）、公共、市場、市民社会等異なるセクターを架橋する協働（governance）軸として、cross-disciplinary な知見とスキルを涵養します。

2. 到達目標

平和・国際協力をめぐる諸問題・課題について、自らが設定した問い(research question)の主体的探究・調査を行い、その成果を論述、発表・発信することができる能力・スキルを習得することを目指します。

3. 想定される業種・分野

主には、国際公務員、国家・地方公務員、NGO・国際 NGO、政策シンクタンク・コンサルタント等が想定されます。公共・市民社会・市場セクターの垣根を越えた協働が必要とされるグローバル化時代では、卒業生にはより広範な分野・業種で活躍することが期待されます。

4. 指定科目

配当年次 1 年以上・2 年以上の科目については、コース選択後の 2 年次秋学期より履修可能です。

科目名	単位数	科目名	単位数
社会科学総合創造的探究： 平和・国際協力コース（※）	2	人間の安全保障論	2
国際政治理論	2	国際人権論 1	2
太平洋地域海洋国家研究	2	国際人権論 2	2
国際 NGO 協力論	2	EU 地域研究 I	2
国際開発制度論	2	EU 地域研究 II	2
国際関係論	2	Japan and Peacebuilding： Asian Policies	2
平和構築論	2	War and Japan	2
国際法 1	2	Gender and Development	2
国際法 2	2	Education and Development	2
国際経済法 1	2	Development Studies	2
国際経済法 2	2	Problem / Conflict Analysis and Resolution	2
紛争解決論実習 1・2・3	2	Liberal, Post-Liberal and Everyday Peacebuilding	2
平和学 I	2	Critical Development Studies	2
平和学 II	2		

※自コース学生のみ履修可能

コース紹介

多文化社会・共生

1. 概要

世界各地域の多様な歴史・宗教・文化・社会を人文科学の学知として学び、政治・法律・経済などの社会科学の学知を融合させ、多文化共生社会に生きる地球市民としての豊かな専門性とグローバルな教養を身につけます。言語的・文化的背景を異にする人々対話する知性と協働する実践力を合わせ持つ人材を世界に送り出します。

2. 到達目標

英語以外のもう一つの外国語を習得し、専門とする地域の歴史・宗教・文化・社会などの基本知識を身に付けます。また、フィールドワークやインタビュー調査などの学習活動を通して、実践的なコミュニケーション能力を高めます。資料の調査、解読能力を高めることによって、学際的な専門知識を応用する人材を目指します。

3. 想定される業種・分野

政府や民間の国際機関で活躍する専門人材、メディアなどで活躍するジャーナリスト、民間企業で国際協力に貢献する人材が想定されます。

4. 指定科目

配当年次 1 年以上・2 年以上の科目については、コース選択後の 2 年次秋学期より履修可能です。

科目名	単位数	科目名	単位数
社会科学総合総合的探究： 多文化社会・共生コース（※）	2	商業史 II	2
文化の社会学	2	比較近代社会思想 1	2
日本文学 2	2	比較近代社会思想 2	2
文化人類学 2	2	スペイン語文化圏論 2	2
中国研究 1	2	国際人権論 1	2
中国研究 2	2	国際人権論 2	2
国際NGO協力論	2	観光学	2
歴史学（日中関係史） 2	2	日本環境文化史 2	2
日本文化研究	2	ジェンダーの社会学 2	2
漢字文化圏論 2	2	Japan and World War II: Historical Controversies	2
Examining Global Issues 1 〔Social Problems in Contemporary Japan: Global Comparisons〕	2	Women in Modern Japan: Outside Encounters and Early Changes	2
Examining Global Issues 2 〔Major Themes and Events in Modern Japanese History〕	2	Urban History of Tokyo	2
国際教育協力論	2	War and Japan	2
商業史 I	2	Contemporary Japanese Foreign Policy	2

※自コース学生のみ履修可能

コース紹介

サステナビリティ

1. 概要

将来世代に良好な自然環境を承継しつつ、社会経済の発展を実現することについて、構造的な理解を得ます。地球温暖化を緩和するための脱炭素社会の実現、森林・里山・海域の適切な管理による生態系と地域環境の保全、食料・エネルギー・資源の保全など持続可能な発展の問題について、政治、経済、社会、制度などの視点で分析します。

2. 到達目標

サステナビリティの構造を理解し、その重要性についての認識を獲得します。

環境、地域、そして社会の持続可能性の実現に必要となる政府・地方自治体、企業、市民・住民・消費者としての行動についての知識を身に付けます。

そして、行政、ビジネス、市民活動や日常生活を通じてサステナビリティの向上に貢献するのに必要となる知識とスキルを獲得します。

3. 想定される業種・分野

企業のサステナビリティ情報開示の義務化が進展する中で、サステナビリティに関わる知識は、ほとんどの事業活動に関与する事柄であるため、どの分野に進んでも役立ちます。

中でも、環境、開発、農林漁業に係わる業種で学習した成果を生かしやすいでしょう。

具体的には、公務員、エネルギー産業、ディベロッパー、不動産業、造園・公園管理、観光業、農林漁業、食品などが挙げられます。

4. 指定科目

配当年次 1 年以上・2 年以上の科目については、コース選択後の 2 年次秋学期より履修可能です。

科目名	単位数	科目名	単位数
社会科学総合創造的探究： サステナビリティコース（※）	2	地域計画システム論 I	2
生態学 1	2	地域計画システム論 II	2
生態学 2	2	理論人類学 1	2
自然地理学 I	2	理論人類学 2	2
自然地理学 II	2	環境科学概論	2
環境法 1〔公害規制法〕	2	環境社会学 1	2
環境法 2〔自然保護法〕	2	環境社会学 2	2
国際法 1	2	開発社会学	2
産業構造論	2	都市復興デザイン論	2
環境の産業連関分析	2	イオン環境財団寄附講座 サステナブルコミュニティ論	2
食料と農業の経済学 1 〔食料需給の決定要因と食料問題・農業調整問題〕	2	環境経済学 I	2
食料と農業の経済学 2 〔日本の経験と教訓〕	2	環境経済学 II	2
地理情報システム論 I	2	環境共生社会学	2
地理情報システム論 II	2	環境政治学	2

※自コース学生のみ履修可能

コース紹介

コミュニティ・社会デザイン

1. 概要

都市・農村地域などコミュニティにおける社会・経済・文化・環境の複雑な課題についてコミュニケーション・メディア、計画・開発、政策過程論を基礎としながら市民の相互理解と主体性、企業の社会的責任、公民協働をベースとしたデザイン思考アプローチから、課題解決および未来創造の専門知とスキルを修得します。

2. 到達目標

ソーシャルイノベーターとして、これらの力を身に着けることを目指します。

- ①超域知（幅広い専門分野や地域をまたぐ知識創出）やメタ認知による探索思考力
- ②社会の構造的な理解力
- ③社会イノベーションおよび適応能力
- ④他者との相互理解と関係構築能力
- ⑤自律的な行動および自己調整能力

3. 想定される業種・分野

- ①公共政策・政府機関（社会課題解決、地域活性化、持続可能な地域づくり、地方創生などの企画・政策調整）
- ②コンサルティング業界（デザインリサーチ）
- ③メディア・クリエイティブ産業（デジタル、メディア、コンテンツ制作）
- ④観光業（観光戦略立案、地域ブランディング）
- ⑤スタートアップ・起業（社会的インパクトを追求する企業、NPO・NGO）・・・など

4. 指定科目

配当年次1年以上・2年以上の科目については、コース選択後の2年次秋学期より履修可能です。

科目名	単位数	科目名	単位数
社会科学創造的探究： コミュニティ・社会デザイン（※）	2	環境社会学 1	2
文化の社会学	2	環境社会学 2	2
地理情報システム論 I	2	開発社会学	2
地理情報システム論 II	2	都市復興デザイン論	2
コミュニティデザイン	2	イタリアの都市づくり	2
制度設計の経済学 I	2	社会デザインの思考と技法 1 〔他者と関わりを持つということ〕	2
制度設計の経済学 II	2	社会デザインの思考と技法 2 〔フィールドでの技術〕	2
地域自治論 1	2	社会デザインの思考と技法 3 〔社会言語としての写真・映像〕	2
地域自治論 2	2	社会デザインの思考と技法 4 〔参加のデザイン技術〕	2
地域計画システム論 I	2	社会デザインの思考と技法 5 〔演劇実践と場の創造〕	2
地域計画システム論 II	2	イオン環境財団寄附講座 サステイナブルコミュニティ論	2
比較近代社会思想 1	2	Urban History of Tokyo	2
比較近代社会思想 2	2	Introduction to Rural Development	2
観光学	2	Community Design: History, Method and Practice	2

※自コース学生のみ履修可能

コース紹介

組織・社会イノベーション

1. 概要

企業に競争力強化と持続的な成長・発展をもたらすとともに、顧客やさまざまなステークホルダーに対する価値を高め、社会経済的な変革と進化をも生み出すイノベーションに、経済学、経営学、社会学、政治学などの理論や分析枠組みを用いてアプローチします。イノベーションの効果的な創出法と経済社会へのインパクトを洞察し、グローバルな文脈においても持続可能な価値を提供する能力を身につけます。

2. 到達目標

多様な学問分野の理論と分析枠組みを基に、企業競争力や持続的成長を支えるイノベーションの手法を体系的に学びます。

また、単一組織や職場内にとどまらず、サプライヤーや顧客との統合的イノベーション、クラウド知識を活用したオープンイノベーション、さらには国際社会や地域社会、公共セクターとの連携する社会イノベーションを通じて、組織間、業界間、国家間を横断して新たな価値創出や経済社会変革をリードする力を養います。

3. 想定される業種・分野

企業内の新規事業開発やイノベーション戦略に携わり、競争力強化と価値創出をリードする役割が期待されます。

また、社外のサプライチェーンや顧客との連携を通じた統合型イノベーション、さらには社会課題解決に向けた社会イノベーションの分野でも活躍が期待されます。

分野横断的な連携やオープンイノベーションの手法を活かして様々なプロジェクト推進、公共政策立案、非営利組織や社会的企業における価値創出にも貢献できる人材を目指します。

4. 指定科目

配当年次 1 年以上・2 年以上の科目については、コース選択後の 2 年次秋学期より履修可能です。

科目名	単位数	科目名	単位数
社会科学創造的探究： 組織・社会イノベーションコース（※）	2	産業組織論	4
アントレプレナーシップ	2	科学技術・イノベーション概論	2
研究開発戦略	2	グローバルビジネス論 1	2
社会イノベーション	2	グローバルビジネス論 2	2
会社法 3〔組織再編・M&A〕	2	組織行動論	2
労働市場法	2	組織イノベーション 1	2
国際経済法 1	2	組織イノベーション 2	2
産業構造論	2	ディーセント・ワーク 2	2
国際金融論	2	Understanding the Japanese Economy: Macroeconomic Perspectives	2
労使関係法	2	Understanding the Japanese Economy: Microeconomic Perspectives	2
制度設計の経済学 I	2	Theories of Social Business Cooperation	2
制度設計の経済学 II	2	Theories of Social Business	2
商業史 I	2	Professionals Innovating Work 1 : Exploring New Work and Life Styles in the Changing World	2
商業史 II	2	Professionals Innovating Work 2 : Getting to Know the World of Work	2

※自コース学生のみ履修可能